

第5次総合計画策定のための

みなさんが描く「将来の長久手」

地区別懇談会

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 第5次総合計画策定の趣旨、策定スケジュール
- 4 町の可能性と課題
- 5 将来のまちづくりに向けた意見・提案

総合計画とは

○将来のまちづくりの方向性や目標設定の 必要性

「地方自治法」第2条第4項

地方自治体において、市町村の事務は、地域における総合的かつ計画的な行財政運営を図るために、基本構想を定め、これに即して行わなければならない。

○『総合計画』として明文化することで、みんな で共通のイメージを持ってまちづくりを推進

○現在、第4次長久手町総合計画に基づき 町政を展開

なぜ今、総合計画を策定するのか

1999年
(H11)



第4次
総合計画

2009年
(H21)

第5次総合計画

2018年
(H30)

①見直しの時期の到来

★基本計画の分野別計画の目標年次

②長久手町を取り巻く環境の変化

★愛・地球博の開催

★リニモなど都市基盤整備

★地方分権の進展

(自治体に求められる行財政改革)

③行政ニーズの高度化・多様化

★少子高齢化時代・地球環境問題の深刻化

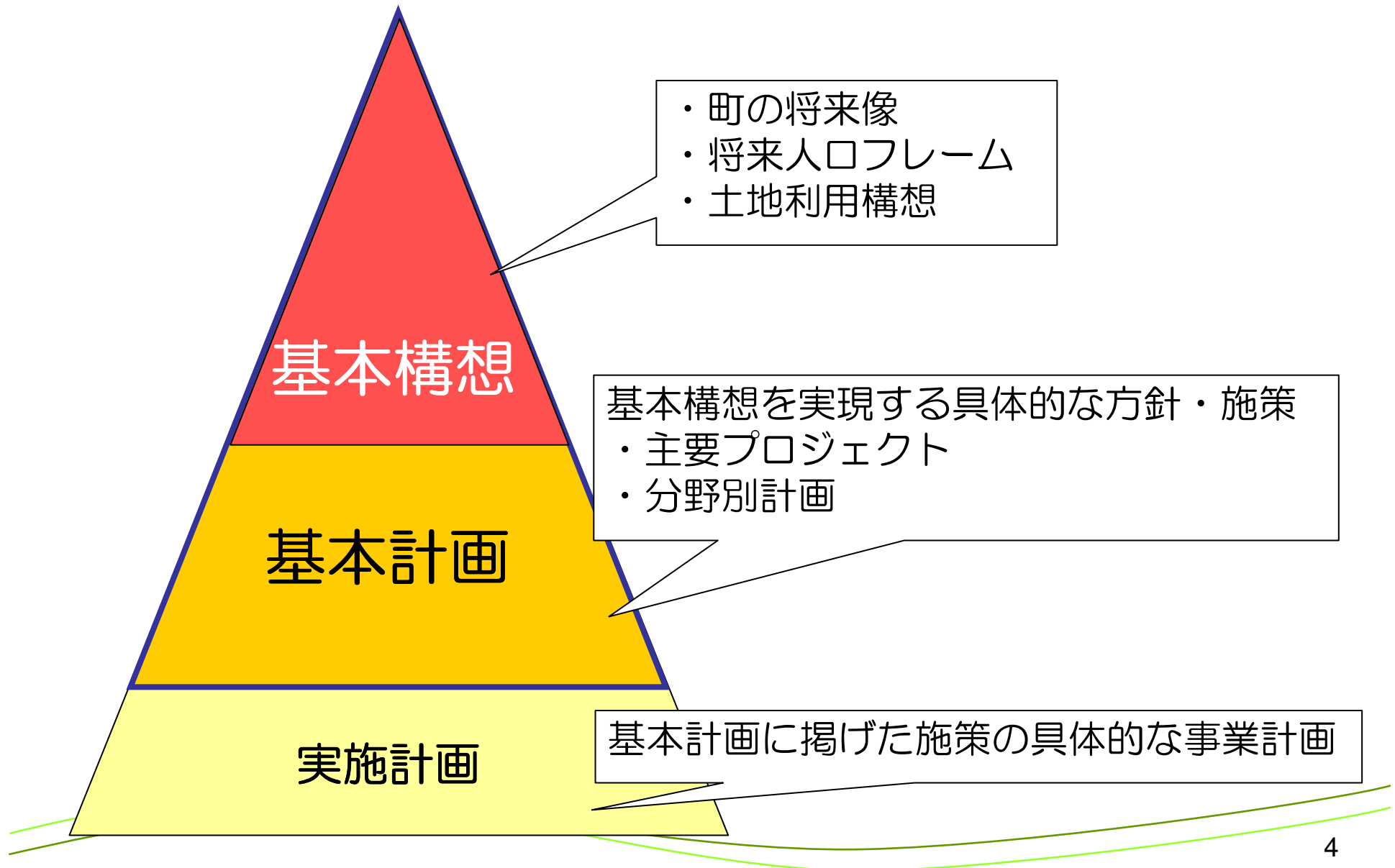
★安心安全な暮らしへの対応

★まちづくりへの住民参加の機会の増加

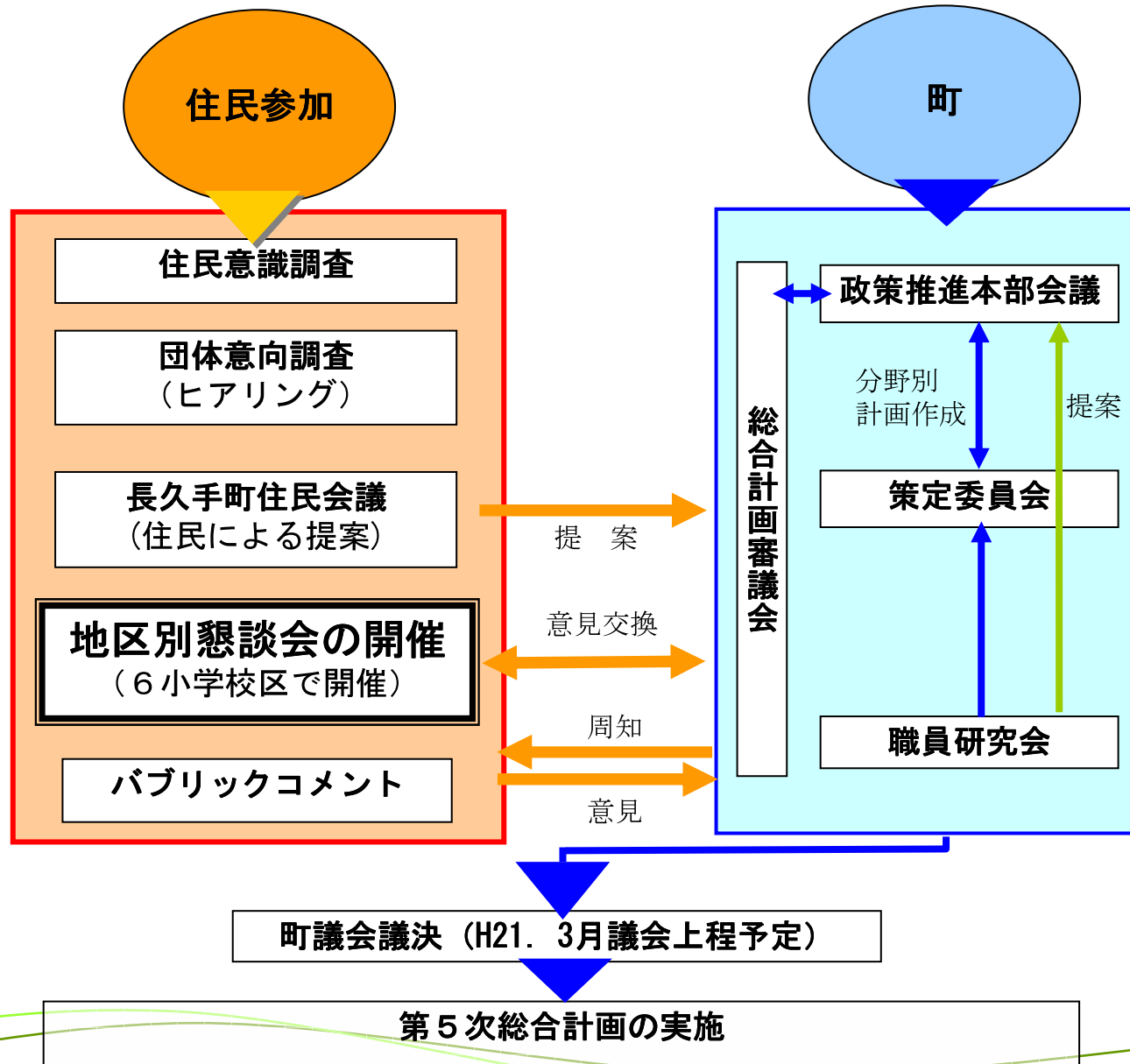
⇒行政ニーズの変化への柔軟な対応



総合計画の構成



第5次総合計画の策定体制イメージ



長久手町の可能性

★人口5万人突破

⇒さらなるステップアップのきっかけ

★町内資産の活用

⇒リニモなど公共交通や大学、観光施設など

★万博開催地

⇒環境保全・多様な交流・住民活動の契機

長久手町の課題（住民ニーズ）

★世代間のバリアフリー

- ⇒子どもの割合減少、独居老人の増加
- ⇒住民同士のつながりの希薄化

★安心安全な暮らし

- ⇒子どもの安全確保、青少年の健全な育成
- ⇒防災、防犯、交通安全への対策

★ゆとりある健全な暮らし

- ⇒スポーツ・レクリエーション施設の充実
- ⇒自然保護・緑の保全

リニモ Linimo

(H19利用者15,600人/日)



出典: 愛知高速交通株式会社HP

名古屋瀬戸道路



出典:名古屋東部丘陵工事事務所HP

愛知県立大学



出典:愛知県立大学HP

町内大学の学生・職員数

- ・愛知県立大学 3,200人
- ・県立芸術大学 1,000人
- ・愛知医科大学 1,350人
- ・愛知淑徳大学 6,200人
- 計 11,750人

モリコロパーク

(H19来場者:119万人⇒目標:310万人/年)



愛知県農業総合試験場 (職員数:200人)



出典:愛知県HP

トヨタ博物館

(H19来館者:254,000人)



温泉交流施設ござらっせ

(H19利用者:520,000人)



大露天風呂



大浴場(2F)

出典:株式会社 長久手温泉HP

あぐりん村

H19利用者:300,000人

売上げ額:3億6千万円

(うち産直分:3億円)



市・ござらっせ 長久手のとれたて野菜が並んでいる。



イベント広場 大道芸などのイベントが行われる。

出典:株式会社 長久手温泉HP

将来のまちづくりに向けた意見・提案

総合計画の目的の一つは、みんなで共通のイメージを持ってまちづくりを推進することです。

そこで、ここからは、実際に長久手町に住まうみなさんに

『10年後の長久手』

に向けて意見や提案をいただきたいと考えています。

～ ヌ 毛 ～